

東日本大震災により発生した災害廃棄物の処理

地震による大規模な津波により
膨大な災害廃棄物が発生

岩手県: 約525万t(約12年分)
宮城県: 約1,154万t(約14年分)

※各県において1年で排出される一般廃棄物の量と比較

災害廃棄物処理のスケジュール

平成24年3月末: 仮置場への移動
平成26年3月末: 中間処理・最終処分

東日本大震災に係る災害廃棄物の処理指針
(平成23年5月: マスタープラン)

被災地の復旧・復興のためには、災害廃棄物の迅速な撤去・処理が大前提

被災地で仮設焼却施設等を設けて処理を実施しているが、なお処理能力が不足

**広域処理
が必須**

広域処理の対象とする災害廃棄物は放射能濃度が不検出又は微量のものに限定

岩手

県内施設を最大限活用するとともに、新たに仮設焼却炉も設置して処理を進めています。それでも、目標年度までに処理を完了させることが難しいため、広域処理へのご協力をお願いします。

◆ 広域処理必要量：
計：**120万t**

※広域処理済量1万tを含む。



可燃物



不燃物



木くず

不燃物については県内処理、復興資材等としての再生利用の活路を見いだすことに努める。

■木くず 17.5万t		単位:万t	
木くず	17.5	久慈	1.8
		宮古	2.0
		釜石	10.9
		大船渡	2.8
■可燃物 11.7万t			
可燃物	6.3	久慈	1.6
		宮古	1.6
		釜石	1.1
		大船渡	2.0
漁具・漁網	5.4	久慈	0.4
		宮古	1.9
		釜石	2.1
		大船渡	1.1
■不燃物 89.2万t			
不燃物	89.2	久慈	7.1
		宮古	12.4
		釜石	14.8
		大船渡	55.1

※漁具・漁網については便宜上可燃物に分類。実際には焼却処理を行った上で処分が行われるもの、直接埋立処分が行われるものがある。

宮城

県内での処理を最優先し、可能な限り再資源化を行い、焼却・埋立処分量の減量を図ることとしているが、災害廃棄物の発生量が膨大であり、県内で処理を完結するのが困難な状況です。計画期間内で処理を終了させるには、他都道府県との連携による広域処理が必要でありご協力をお願いします。

◆ 広域処理必要量：
計：**127万t**

※広域処理確定量(女川町等)13万tを含む。



可燃物



不燃物



木くず

■木くず 47万t		単位:万t	
木くず	44	南三陸処理区	1
		石巻ブロック	12
		宮城東部ブロック	4
		名取処理区	5
		岩沼処理区	2
		亶理処理区	0.1
		山元処理区	20
■可燃物 31万t			
可燃系混合物(焼却処理)	28	石巻ブロック	28
プラスチック	2	南三陸処理区	2
		亶理処理区	0.1
タイヤ・畳など	1	南三陸処理区	0.2
		宮城東部ブロック	0.4
		亶理処理区	0.1
■不燃物 39万t			
管理型・安定型	73	南三陸処理区	1
		石巻ブロック	33
		宮城東部ブロック	6
		名取処理区	1
		岩沼処理区	7
		亶理処理区	19
山元処理区	6		

73万tのうち、
34万tは県内
処理拡大に取り組み、広域処理量は39万tに抑制

広域処理受入施設におけるモニタリング結果 (可燃廃棄物の焼却・溶融の事例)

広域処理の対象としている災害廃棄物の放射能濃度が不検出又は低く、さらに、施設の余力(10～20%程度)の範囲で処理していることから、**排ガスの放射能濃度はすべての施設で不検出であった。**

受入側自治体	搬出側自治体	焼却・溶融施設の排ガスの放射能濃度 (単位: Bq/m ³)
東京都 <small>試験焼却: 2011年12月7～19日 (混焼割合 18.8～20%) 本格実施: 2012年3月1日～</small>	宮城県 女川町	ND (0.61～1.02、0.56～0.97)
東京都 <small>先行事業: 2011年11月2～30日 本格実施: 2011年12月～ (破碎選別・焼却処理は民間施設、 埋立処分は東京都処分場)</small>	岩手県 宮古市	ND (0.31～2、0.52～2)
山形県 <small>受入実施: 2011年8月～ (焼却処理・埋立処分ともに民間施設)</small>	宮城県 気仙沼市 松島町 利府町	ND (0.44～0.88、0.47～0.84)
秋田県大仙市 <small>事前調査: 2012年3月13、15～16日 試験焼却: 2012年3月26～28日 (混焼割合 約13%) 事後調査: 2012年4月5日 本格実施: 2012年4月23日～</small>	岩手県 宮古市	ND (0.80、0.87)
群馬県 吾妻東部衛生施設組合 <small>試験焼却: 2012年4月10～12日 (混焼割合 約12%)</small>	岩手県 宮古市	ND (1、1)
静岡県島田市 <small>試験溶融: 2012年2月16～17日 (混焼割合 約15%)</small>	岩手県 山田町	ND (0.38～1.3、0.33～1.4)

注1) 掲載数値は、¹³⁴Cs、¹³⁷Csの測定値の合計値。「ND」は検出下限値未満であったことを示す。()内は、前者は¹³⁴Cs、後者は¹³⁷Csの検出下限値を示す。なお、検出下限値の数値を1つのみ示している場合は、¹³⁴Cs、¹³⁷Csの検出下限値の合計である。また、()内の数値がないものは、検出下限値の記載がないものである。